

【地域の概要】

- 岐阜県の南西部に位置し、木曽・長良の2大河川に囲まれた輪中地帯である。
- 本市の中央部に市街化区域が位置づけられ、市街化区域の北と南には農業振興地域が広がっている。
- 稲作を中心とした農業であり、北地域は個人の担い手、南地域は法人や個人の担い手を中心となって耕作を行っている。

①取組開始前の状況や課題

- 担当地域内の農地の状況を確認する中で、不耕作地等を発見しても、土地の地番や、所有者を見つける作業に手間がかかり、声掛け活動や、事務局への情報提供に結びつく機会に乏しかった。

課題

- 不耕作地や遊休農地を発見した際に、ストレスなく次の行動に繋げる手順の確立。
- 事務局へ写真等を持参するためには、委員の私物のカメラや地図を利用しなければならない。

③今後の展開と方向性

タブレット端末の活用を促進

- 現在の好循環を促進するためには、各委員のタブレット活用が必須となるため、使い方に関する研修を定期的で開催する。
- 個人情報保護に関するリテラシーについても研修会を通して浸透させていく。

②取組内容

eMAFFアプリを活用し、不耕作地の解消を実現

- 不耕作地を発見後、タブレット端末を活用することで、土地所有者を早期に特定し、自宅へ訪問、声掛けを行う事例が多数発生。
- これまでの、「不耕作地を発見→事務局窓口訪問→所有者と住所を特定→自宅訪問」の流れが「不耕作地を発見→eMAFFで検索→自宅訪問」となり、効率的に遊休農地化の防止を実現するに至っている。



放棄地を確認後地権者を検索する
花村推進委員



遊休農地是正指導を行った後の
現地確認をする服部推進委員



遊休農地の地権者に直接声掛けを
行い、解消につなげた場所を撮影
する吉村推進委員